独立行政法人国立病院機構
沖　縄　病　院

ISO 9001:2015

〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古３丁目20番14号
TEL：098(898)2121
FAX：098(898)6433(地域連携室直通)

2024年５月　No.116　発行／地域医療連携室

ハイビスカスの花言葉：「上品な美しさ」「信頼」

【沖縄病院 診療科の案内】

★肺がんセンター　★外　科　★呼吸器内科　★消化器一般内科　★脳・神経・筋疾患研究センター
★脳神経内科　★緩和医療科　★放射線科　★放射線治療科　★麻酔科　★病理診断科

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針

1．政策医療を担いつつ、質の高い適切な医療サービスの提供
2．患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
3．健全な経営基盤の確立
4．安心して療養に専念できる快適な環境
5．臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実と人材育成

【沖縄病院 病床数：300床】

★がん専門病棟：60床
★神経筋病棟：145床
★緩和ケア病棟：25床
★結核病床：30床
★地域包括ケア病棟：40床

【目　次】

1ページ：中庭の風景より
2ページ：胸部外科チームの紹介
　　看護部長挨拶
3ページ：アルツハイマー型認知症に
　　新しい治療薬
4ページ：新戦力紹介
5ページ：病棟紹介
6ページ：連携医療機関紹介

胸部外科チームの紹介

臨床研究部長 **河崎 英範**

日頃より連携医療機関の皆さまには大変お世話になっております。稿のはじめに深く感謝を申し上げます。今回の沖縄病院連携室ニュース“美心”では外科チームを紹介いたします。

現在当院の外科医は６名（１名は緩和チームの併任、１名は育児奮闘中で、実質4名体制）で日々の外科診療にあたっています。ご存じのように肺がん、縦隔腫瘍をはじめ胸部疾患を専門とする外科チームです。専門性を強みに内科、放射線科と合同で協議し、進行肺がん症例でも薬物療法と放射線治療を組み合わせた集学的治療を積極的に行っています。ここ数年は免疫チェックポイント阻害剤や、分子標的薬が肺癌周術期に適応拡大され、肺がん治療は複雑化しています。我々外科医も薬物療法についてもアップデートに務めよりよい治療を提供できるよう研鑽に務めています。院内での取り組みは科内のカンファレンスのほか、病棟でも医師、病棟および手術室看護師、理学療法士を含むカンファレンスを週2回行い、多職種で入院患者一人ひとりの経過を共有認識するよう心掛けております。また当院では臨床研究活動を積極的に推進しています。全国の多施設共同臨床研究に積極的に参加し、当院からも新たな研究を提起し主幹施設として活動しています。日々の診療の中から課題を見いだし、解決へ導く過程を若手に伝え、明日の医療を創る臨床研究の楽しさを発信していきたいと考えております。

冒頭にも触れましたが、当院の特性から近隣の医療機関には大変お世話になっております。その分、当科として対応可能な症例は積極的に受け入れていくべきと考えております。気道狭窄、膿胸、気胸などお困りやご相談がございましたら遠慮なくお申し付け下さい。難しい症例は悩みながらも、チームで考えより良い診療ができるよう取り組んで参ります。今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

看護部長挨拶

看護部長 **髙尾 珠江**

4月1日付けで、看護部長に就任いたしました髙尾と申します。重責に身の引き締まる思いの中、職員の皆さんからの温かい声掛けやサポートをしていただき安堵しながら、日々を過ごしております。これまで諸先輩方が築きあげられたことを引継ぎ、病院理念のもと地域の医療に貢献できるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

超高齢化社会、地域包括ケアシステム体制の中、沖縄病院は難病医療拠点病院と結核医療中核病院、肺がんの診断から治療を中心とした一般病棟から緩和ケア病棟、そして地域包括ケア病棟を有し、地域で重要な役割を担っています。その中で、看護師は今起きている身体状況に対しての援助をはじめ、さまざまな背景を持つ患者さんと家族の思いを理解し、次のステージに繋ぐことが重要な役割だと考えます。また、医療チームの一員である看護師として、意思決定し、多職種と協同できる力を付けていく必要があります。

まずは、皆さんがこの病院（病棟）に居ていいんだ（居場所）と感じられること、個々を認め合うことが大事だと思います。そのためには、お互いの思いを言葉にすること、そして、院長から今月の言葉もありましたように関係する人たちの思いや考えを「聴く」ことから実践していきたいと思います。そして、お互い理解でき関係性がさらに良くなることで、それぞれの役割が発揮でき、よいチーム・組織となり、グッドサイクルが継続できることを期待したいです。

また、看護師は看護実践するなかで患者さんや家族、多職種から学ぶことが多くあり、成長できると思います。新人看護師からベテラン看護師が、それぞれの強みを活かした看護実践能力を発揮でき、患者さまにとっても、看護師にとってもよい環境を整えられるよう尽力したいと思います。

よい看護が実践できるよう、ゆいまーる精神で取り組みますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

アルツハイマー型認知症に新しい治療薬

特命副院長 **渡嘉敷 崇**

高齢化社会の進行により厚生労働省の推計では2025年には約700万人の認知症の方がいるとされています。報道でも取り上げられており、「人の名前が出てこない」「あれっそうだった？」といった日常生活の場面で「自分も認知症かもしれない」と心配になる方も多いと思います。もちろん、その出来事のみで認知症という診断になるわけではなく、正しい診断が必要になります。認知症とは記憶障害と日常的に出来ていたことが出来なくなるなどのことを総合的に判断して診断されます。認知症の原因にも様々な原因があり、約7割弱の方は「アルツハイマー型認知症(アルツハイマー病)」と考えられます。それ以外には脳卒中の後遺症として起こる「脳血管性認知症」や認知症症状以外に運動障害などを伴う「レビー小体型認知症」等が代表的な認知症の症状を来す病気になります。

これまでアルツハイマー型認知症の治療薬には進行を遅らせる効果のある薬はなく、症状を改善もしくは緩和する薬しかありませんでした。2023年12月に病気の進行を抑制する薬(レケンビ点滴静注)が初めて承認され日本で使用できるようになりました。1年6 ヶ月の使用期間で使用していない方に比べて27%程度の進行抑制効果が認められました。根本的な治療薬ではありませんが発症初期や症状が軽い方には大変意味のあることだと思います。

レケンビの効果はその作用機序からアルツハイマー型認知症にしか効果が無いため正確な診断が必要になります。また、進行例での有効性は確認できず軽度認知障害(MCI)もしくは認知症軽症例に使用が限定されています。そのため治療には適正使用に関して厚生労働省から専門医や施設などの条件がついています。当院では認知症症状でお困りの方にこの治療を提供すべく対応しております。正確な診断、投与対象を決めるためにMRI、髄液検査(脳脊髄の周囲にある液体成分の分析)や高次脳機能検査(認知症の診断や程度の評価)をおこない治療の適否を判断しています。実際の治療では2週間毎に1時間程度の点滴で投与します。通院以外にも高額な治療であるため経済的な負担も生じます。その点についても相談し治療適応を検討しています。

治療を行うことにより患者さんやご家族の生活の維持に貢献できるよう努めて参ります。

最後になりますが対応できる人員に限りがあり、かかりつけ医などの医療機関を通して完全予約制で対応させて頂いております。直接ご本人やご家族が来院されてもすぐに診察できませんのでご理解とご協力を御願い致します。

新戦力紹介

①氏名　②所属　③趣味や特技
④ひとこと

医　局

①山城 志織
②脳神経内科医師
③散歩
④4月から脳神経内科で勤務する山城志織と申します。不慣れな点もあると思いますが良い診療ができるよう頑張ります。
宜しくお願い致します。

---

①山城 正喬
②脳神経内科医師
③食べ歩き
④北九州にある産業医科大学という病院から来ました山城と申します。不慣れな部分もありますが、1日でも早くお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いします。

---

①内野 周太
②緩和、神経内科医師
③釣り
④中頭病院から3ヶ月間(緩和1ヶ月、神経内科2ヶ月)勉強しに来ました。
様々ことを学びたいと思っています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いします。

看護部

①中尾 恵梨子
②南4病棟師長
③旅行、美味しいものを食べること
④熊本医療センターから師長昇任で参りました。明るく優しい皆様に支えられ感謝の日々です。患者様やご家族に信頼され、皆さんが働きやすい病棟づくりができるよう邁進したいと思います。
よろしくお願いいたします。

①深水　晶子
②南5病棟(地域包括ケア病棟)師長
③スキューバダイビング、おいしい店探し
④指宿医療センターより異動してきました。患者さんが安心して自宅に戻れるよう、地域と連携しながら支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

---

①飯干　知美
②西2階病棟師長
③ドライブ、美味しい物を食べること、旅行、キャンプ
④初めまして、宮崎病院から昇任で参りました飯干といいます。緊張していますが、早く環境に慣れて沖縄病院の戦力になりたいと思っています。よろしくお願いします。

コメディカル・事務部

①瀬上　誠
②管理課　管理課長
④宮崎病院から、４月１日付で管理課長として赴任して参りました。今回で３回目の沖縄での生活となります。早く業務に慣れて、病院に貢献できるようにして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

---

①大塚　敦史
②企画課　業務班長
③読書
④4年ぶりに沖縄病院に企画課業務班長として戻ってきました。
よろしくお願いいたします。

---

①浦崎　奈妃
②管理課　庶務係長
③カラオケ
④沖縄愛楽園・琉球病院での事務経験を活かして即戦力になれるよう努めていきます。

①宮崎　啓文
②リハビリテーション　理学療法士
③アウトドアスポーツ関連、
ピジン語
④人とのつながりを大切にして仕事に励みたいと思います。

①鎌田　華音
②放射線科　診療放射線技師
③アニメ鑑賞
④沖縄病院医療従事者の一員として、一日でも早く貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

①松田　和葉
②企画課　契約係
③映画鑑賞
④４月から新しく職員になりました。事務部企画課契約係の松田です。
よろしくお願いします！

①荒川　芽依
②リハビリテーション科
理学療法士
③温泉・サウナにいく、おいしいものを食べる大阪出身です。今年でPT5年目になります。約1年前に沖縄に移住しました。
いろいろ教えていただけると嬉しいです！
よろしくお願いします。

①宮城　勝
②企画課　経営企画係
③映画鑑賞、サッカー
④４月から新しく職員になり、わからないことも多いですが持ち前の元気とコミュニケーション力で沢山の知識をつけていき少しでも早く新戦力になれるよう勤めていきたいです。

南３病棟紹介

南３病棟　**末吉 温子**

病棟内風景

当病棟は、沖縄県の脳神経疾患医療拠点病院としての役割を担っており、脳神経内科疾患の鑑別・確定診断・治療のための入院と脳神経内科患者を中心に検査や治療、リハビリテーションを目的とした入院を受け入れています。

入院中の患者は、疾患の進行に伴い、運動・感覚・自律神経麻痺、摂食嚥下、呼吸・コミュニケーションなど多岐にわたる障害を有しており、人工呼吸器管理など医療処置や２４時間を通して日常生活援助を必要とする患者が多いのが特徴となっています。

また、脳神経難病患者に対し、摂食嚥下機能評価や摂食機能訓練、KTバランスチャートを活用して定期的に評価を行い、安全に食事が提供できるよう取り組んでいます。退院支援では、多職種カンファレンスを通し、今後の方向性等を確認し、患者家族にとってより良い環境（退院先）を提供できるよう地域連携室看護師（退院調整看護師）と連携し、退院支援に繋げています。在宅支援として、吸引や人工呼吸器管理、経管栄養等、医療処置における教育指導や疾患の受容について援助を行い、日常生活援助等含め、患者・家族が安心して在宅移行できるよう支援しています。

沖縄病院と連携していただいている
医療機関をご紹介します

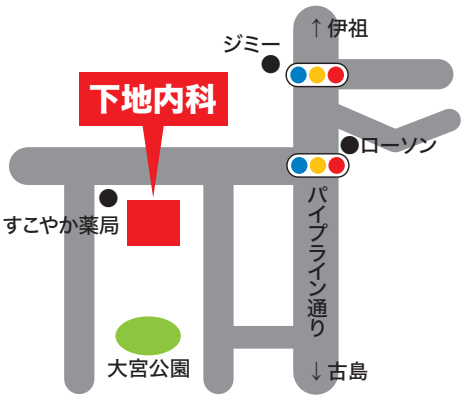
下 地 内 科

下地内科院長 **下地 克佳**

所在地：浦添市宮城４－２－１
電　話：098-874-7007
院　長：下地 克佳

診療時間：	月	火	水	木	金	土
午前　9:00-13:00	○	○	○	○	○	○
午後　14:30-18:00	○	○	／	○	○	／

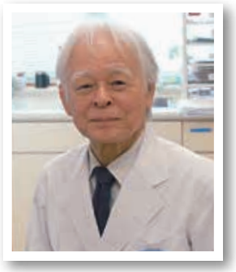
休診日　日曜・祝祭日



下地内科は浦添宮城に開業し26年目になります。僕自身、勤務医時代は呼吸器を専門にしていましたので、呼吸器の患者さんが主ですが、生活習慣病やいろいろな症状の患者さんが来院されます。当院の目標・役割は、患者さんの応援者の気持ちで診療すること、症状の多い患者さんは症状を整理し、必要な時は適切に他の医療機関につなぐことを心掛けています。若い患者さんは、仕事が忙しく、睡眠不足、いろいろなストレスを抱え、クリニックへ受診・通院するのも大変な方が多く、できるだけ励まし、ねぎらいの声掛けして病気と向き合えるようにしています。また、患者さんの話をできるだけ幅広く聞くことと診察を基本としています。多くの症状が一つの病気のことも稀にあり、その時は病院へ紹介します。多くは内科疾患＋整形外科、泌尿器科、心療内科など色々で、それらを整理して患者さんに理解してもらい、必要な時は近隣のクリニックもしくは病院へ紹介します。内科に関しても専門クリニック・病院での精査・診療が必要な時は紹介します。呼吸器に関しましては沖縄病院に度々紹介しお世話になっています。このように専門クリニック・病院との連携を密にすることにより、多くの情報が当院にフィードバックされ、当院の診療の質的向上にも役立っています。

沖縄病院と連携していただいている
医療機関をご紹介します

下 地 内 科

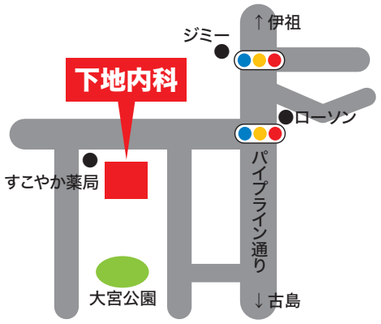


下地内科院長 **下地 克佳**

所在地：浦添市宮城４－２－１
電　話：098-874-7007
院　長：下地 克佳

診療時間：	月	火	水	木	金	土
午前　9:00-13:00	○	○	○	○	○	○
午後　14:30-18:00	○	○	／	○	○	／

休診日　日曜・祝祭日



下地内科は浦添宮城に開業し26年目になります。僕自身、勤務医時代は呼吸器を専門にしていましたので、呼吸器の患者さんが主ですが、生活習慣病やいろいろな症状の患者さんが来院されます。当院の目標・役割は、患者さんの応援者の気持ちで診療すること、症状の多い患者さんは症状を整理し、必要な時は適切に他の医療機関につなぐことを心掛けています。若い患者さんは、仕事が忙しく、睡眠不足、いろいろなストレスを抱え、クリニックへ受診・通院するのも大変な方が多く、できるだけ励まし、ねぎらいの声掛けして病気と向き合えるようにしています。また、患者さんの話をできるだけ幅広く聞くことと診察を基本としています。多くの症状が一つの病気のことも稀にあり、その時は病院へ紹介します。多くは内科疾患＋整形外科、泌尿器科、心療内科など色々で、それらを整理して患者さんに理解してもらい、必要な時は近隣のクリニックもしくは病院へ紹介します。内科に関しても専門クリニック・病院での精査・診療が必要な時は紹介します。呼吸器に関しましては沖縄病院に度々紹介しお世話になっています。このように専門クリニック・病院との連携を密にすることにより、多くの情報が当院にフィードバックされ、当院の診療の質的向上にも役立っています。

地域連携室ニュース

“美心”（ちむぐくる）

独立行政法人国立病院機構
沖　縄　病　院

〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古３丁目20番14号
TEL：098(898)2121
FAX：098(898)6433（地域連携室直通）

2024年５月　No.116　発行／地域医療連携室

ハイビスカスの花言葉：「上品な美しさ」「信頼」

【沖縄病院 診療科の案内】

★肺がんセンター　★外　科　★呼吸器内科　★消化器一般内科　★脳・神経・筋疾患研究センター
★脳神経内科　★緩和医療科　★放射線科　★放射線治療科　★麻酔科　★病理診断科

基本理念
患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針
1．政策医療を担いつつ、質の高い適切な医療サービスの提供
2．患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
3．健全な経営基盤の確立
4．安心して療養に専念できる快適な環境
5．臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実と人材育成

【沖縄病院 病床数：300床】

★がん専門病棟：60床
★神経筋病棟：145床
★緩和ケア病棟：25床
★結核病床：30床
★地域包括ケア病棟：40床

【目　次】

1ページ：中庭の風景より
2ページ：胸部外科チームの紹介
　　看護部長挨拶
3ページ：アルツハイマー型認知症に
　　新しい治療薬
4ページ：新戦力紹介
5ページ：病棟紹介
6ページ：連携医療機関紹介

胸部外科チームの紹介

臨床研究部長 **河崎 英範**

日頃より連携医療機関の皆さまには大変お世話になっております。稿のはじめに深く感謝を申し上げます。今回の沖縄病院連携室ニュース“美心”では外科チームを紹介いたします。

現在当院の外科医は６名（１名は緩和チームの併任、１名は育児奮闘中で、実質4名体制）で日々の外科診療にあたっています。ご存じのように肺がん、縦隔腫瘍をはじめ胸部疾患を専門とする外科チームです。専門性を強みに内科、放射線科と合同で協議し、進行肺がん症例でも薬物療法と放射線治療を組み合わせた集学的治療を積極的に行っています。ここ数年は免疫チエックポイント阻害剤や、分子標的薬が肺癌周術期に適応拡大され、肺がん治療は複雑化しています。我々外科医も薬物療法についてもアップデートに務めよりよい治療を提供できるよう研鑽に務めています。院内での取り組みは科内のカンファレンスのほか、病棟でも医師、病棟および手術室看護師、理学療法士を含むカンファレンスを週2回行い、多職種で入院患者一人ひとりの経過を共有認識するよう心掛けております。また当院では臨床研究活動を積極的に推進しています。全国の多施設共同臨床研究に積極的に参加し、当院からも新たな研究を提起し主幹施設として活動しています。日々の診療の中から課題を見いだし、解決へ導く過程を若手に伝え、明日の医療を創る臨床研究の楽しさを発信していきたいと考えております。

冒頭にも触れましたが、当院の特性から近隣の医療機関には大変お世話になっております。その分、当科として対応可能な症例は積極的に受け入れていくべきと考えております。気道狭窄、膿胸、気胸などお困りやご相談がございましたら遠慮なくお申し付け下さい。難しい症例は悩みながらも、チームで考えより良い診療ができるよう取り組んで参ります。今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

看護部長挨拶

看護部長 **髙尾 珠江**

4月1日付けで、看護部長に就任いたしました髙尾と申します。重責に身の引き締まる思いの中、職員の皆さんからの温かい声掛けやサポートをしていただき安堵しながら、日々を過ごしております。これまで諸先輩方が築きあげられたことを引継ぎ、病院理念のもと地域の医療に貢献できるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

超高齢化社会、地域包括ケアシステム体制の中、沖縄病院は難病医療拠点病院と結核医療中核病院、肺がんの診断から治療を中心とした一般病棟から緩和ケア病棟、そして地域包括ケア病棟を有し、地域で重要な役割を担っています。その中で、看護師は今起きている身体状況に対しての援助をはじめ、さまざまな背景を持つ患者さんと家族の思いを理解し、次のステージに繋ぐことが重要な役割だと考えます。また、医療チームの一員である看護師として、意思決定し、多職種と協同できる力を付けていく必要があります。

まずは、皆さんがこの病院（病棟）に居ていいんだ（居場所）と感じられること、個々を認め合うことが大事だと思います。そのためには、お互いの思いを言葉にすること、そして、院長から今月の言葉もありましたように関係する人たちの思いや考えを「聴く」ことから実践していきたいと思います。そして、お互い理解でき関係性がさらに良くなることで、それぞれの役割が発揮でき、よいチーム・組織となり、グッドサイクルが継続できることを期待したいです。

また、看護師は看護実践するなかで患者さんや家族、多職種から学ぶことが多くあり、成長できると思います。新人看護師からベテラン看護師が、それぞれの強みを活かした看護実践能力を発揮でき、患者さまにとっても、看護師にとってもよい環境を整えられるよう尽力したいと思います。

よい看護が実践できるよう、ゆいまーる精神で取り組みますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

アルツハイマー型認知症に新しい治療薬

特命副院長 **渡嘉敷 崇**

高齢化社会の進行により厚生労働省の推計では2025年には約700万人の認知症の方がいるとされています。報道でも取り上げられており、「人の名前が出てこない」「あれっそうだった？」といった日常生活の場面で「自分も認知症かもしれない」と心配になる方も多いと思います。もちろん、その出来事のみで認知症という診断になるわけではなく、正しい診断が必要になります。認知症とは記憶障害と日常的に出来ていたことが出来なくなるなどのことを総合的に判断して診断されます。認知症の原因にも様々な原因があり、約7割弱の方は「アルツハイマー型認知症(アルツハイマー病)」と考えられます。それ以外には脳卒中の後遺症として起こる「脳血管性認知症」や認知症症状以外に運動障害などを伴う「レビー小体型認知症」等が代表的な認知症の症状を来す病気になります。

これまでアルツハイマー型認知症の治療薬には進行を遅らせる効果のある薬はなく、症状を改善もしくは緩和する薬しかありませんでした。2023年12月に病気の進行を抑制する薬(レケンビ点滴静注)が初めて承認され日本で使用できるようになりました。1年6ヶ月の使用期間で使用していない方に比べて27%程度の進行抑制効果が認められました。根本的な治療薬ではありませんが発症初期や症状が軽い方には大変意味のあることだと思います。

レケンビの効果はその作用機序からアルツハイマー型認知症にしか効果が無いため正確な診断が必要になります。また、進行例での有効性は確認できず軽度認知障害(MCI)もしくは認知症軽症例に使用が限定されています。そのため治療には適正使用に関して厚生労働省から専門医や施設などの条件がついています。当院では認知症症状でお困りの方にこの治療を提供すべく対応しております。正確な診断、投与対象を決めるためにMRI、髄液検査(脳脊髄の周囲にある液体成分の分析)や高次脳機能検査(認知症の診断や程度の評価)をおこない治療の適否を判断しています。実際の治療では2週間毎に1時間程度の点滴で投与します。通院以外にも高額な治療であるため経済的な負担も生じます。その点についても相談し治療適応を検討しています。

治療を行うことにより患者さんやご家族の生活の維持に貢献できるよう努めて参ります。

最後になりますが対応できる人員に限りがあり、かかりつけ医などの医療機関を通して完全予約制で対応させて頂いております。直接ご本人やご家族が来院されてもすぐに診察できませんのでご理解とご協力を御願い致します。

新戦力紹介

①氏名　②所属　③趣味や特技
④ひとこと

医　局

①山城　志織
②脳神経内科医師
③散歩
④4月から脳神経内科で勤務する山城志織と申します。不慣れな点もあると思いますが良い診療ができるよう頑張ります。
宜しくお願い致します。

---

①山城　正喬
②脳神経内科医師
③食べ歩き
④北九州にある産業医科大学という病院から来ました山城と申します。不慣れな部分もありますが、1日でも早くお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いします。

---

①内野　周太
②緩和、神経内科医師
③釣り
④中頭病院から3ヶ月間(緩和1ヶ月、神経内科2ヶ月)勉強しに来ました。
様々ことを学びたいと思っています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いします。

看護部

①中尾　恵梨子
②南4病棟師長
③旅行、美味しいものを食べること
④熊本医療センターから師長昇任で参りました。明るく優しい皆様に支えられ感謝の日々です。患者様やご家族に信頼され、皆さんが働きやすい病棟づくりができるよう邁進したいと思います。
よろしくお願いいたします。

①深水　晶子
②南5病棟(地域包括ケア病棟)師長
③スキューバダイビング、おいしい店探し
④指宿医療センターより異動してきました。患者さんが安心して自宅に戻れるよう、地域と連携しながら支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

---

①飯干　知美
②西2階病棟師長
③ドライブ、美味しい物を食べること、旅行、キャンプ
④初めまして、宮崎病院から昇任で参りました飯干といいます。緊張していますが、早く環境に慣れて沖縄病院の戦力になりたいと思っています。よろしくお願いします。

コメディカル・事務部

①瀬上　誠
②管理課　管理課長
④宮崎病院から、４月１日付で管理課長として赴任して参りました。今回で３回目の沖縄での生活となります。早く業務に慣れて、病院に貢献できるようにして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

---

①大塚　敦史
②企画課　業務班長
③読書
④4年ぶりに沖縄病院に企画課業務班長として戻ってきました。
よろしくお願いいたします。

---

①浦崎　奈妃
②管理課　庶務係長
③カラオケ
④沖縄愛楽園・琉球病院での事務経験を活かして即戦力になれるよう努めていきます。

①宮崎　啓文
②リハビリテーション　理学療法士
③アウトドアスポーツ関連、ピジン語
④人とのつながりを大切にして仕事に励みたいと思います。

---

①鎌田　華音
②放射線科　診療放射線技師
③アニメ鑑賞
④沖縄病院医療従事者の一員として、一日でも早く貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

---

①松田　和葉
②企画課　契約係
③映画鑑賞
④４月から新しく職員になりました。事務部企画課契約係の松田です。
よろしくお願いします！

①荒川　芽依
②リハビリテーション科　理学療法士
③温泉・サウナにいく、おいしいものを食べる大阪出身です。今年でPT5年目になります。約1年前に沖縄に移住しました。
いろいろ教えていただけると嬉しいです！
よろしくお願いします。

---

①宮城　勝
②企画課　経営企画係
③映画鑑賞、サッカー
④４月から新しく職員になり、わからないことも多いですが持ち前の元気とコミュニケーション力で沢山の知識をつけていき少しでも早く新戦力になれるよう勤めていきたいです。

南３病棟紹介

南３病棟　**末吉 温子**

病棟内風景

当病棟は、沖縄県の脳神経疾患医療拠点病院としての役割を担っており、脳神経内科疾患の鑑別・確定診断・治療のための入院と脳神経内科患者を中心に検査や治療、リハビリテーションを目的とした入院を受け入れています。

入院中の患者は、疾患の進行に伴い、運動・感覚・自律神経麻痺、摂食嚥下、呼吸・コミュニケーションなど多岐にわたる障害を有しており、人工呼吸器管理など医療処置や２４時間を通して日常生活援助を必要とする患者が多いのが特徴となっています。

また、脳神経難病患者に対し、摂食嚥下機能評価や摂食機能訓練、KTバランスチャートを活用して定期的に評価を行い、安全に食事が提供できるよう取り組んでいます。退院支援では、多職種カンファレンスを通し、今後の方向性等を確認し、患者家族にとってより良い環境(退院先)を提供できるよう地域連携室看護師(退院調整看護師)と連携し、退院支援に繋げています。在宅支援として、吸引や人工呼吸器管理、経管栄養等、医療処置における教育指導や疾患の受容について援助を行い、日常生活援助等含め、患者・家族が安心して在宅移行できるよう支援しています。